

中華民國建國百年青森県祝賀会

「孫文(孫中山)先生を支えた弘前の山田兄弟」



山田 良政



山田 純三郎(左)と孫文
(愛知大学東亜同文書院大学記念センター)

2011年10月14日

主催 青森県日華親善協会

青森県中華総会

共催 社団法人 青森県りんご輸出協会



ご 挨拶

青森県日華親善協会
会長 山崎 力

本日、「中華民國建國 100 年青森県祝賀会」が開催されるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

皆様ご存知のように、本年は 1911 年 10 月 10 日に中国・武昌において中華民國建國の父・孫文（孫中山）先生を中心に「辛亥革命」が始まってから、100 年という節目の年です。日本人の中にも、この革命に共鳴し参加した人たちがいます。その中に本県に縁がある人物、弘前出身の山田良政・純三郎兄弟がいました。山田良政は、東京で孫文先生と会談、革命に参加することを決意し、1900 年の武装蜂起である「惠州起義」に参加、戦死しています。後に弟の純三郎は、孫文先生の側近として活躍し、日本人として唯一人、その臨終に立ち会ったといわれています。弘前市の貞昌寺には、孫文、蔣介石両総統（当時）により山田兄弟を顕彰する石碑が建てられています。

私事ではありますが、父・竜男は、青森県日華親善協会会長の前任者でした。ちなみに、青森県日華親善協会は、ちょうど本年設立 40 年になります。生前、青森りんごの中華民國・台湾への輸出継続のため、毎年その輸出枠確保のため尽力しました。申すまでもなく、弘前市はりんごの生産・流通の中心地です。その長年の実績から青森りんごは、台湾で高い評価を受けており、感慨深く存じます。

このように、歴史的・経済的に中華民國とつながりの深い弘前の地で、皆様と共に建國 100 年をお祝いする機会を得たことは、誠に意義深いものと、衷心よりお慶び申し上げます。特に今回の東日本大震災に際しましては、中華民國・台湾の、特にその一般國民から、それこそ他国とは桁違いの多大な義捐金をいただきました。心から御礼申し上げます。

末筆となりましたが、中華民國の更なるご発展と、わが国並びに青森県との友好・交流が益々深まりますことを、心から祈念申し上げ、ご挨拶といたします。



ご 挨拶

青森県中華総会
会長 張 静容

我が国、中華民国建国 100 周年記念祝賀会を青森県弘前市で開催できることに感謝し感動を覚えます。政治、経済、文化の交流を通して、多数の県民が中華民国に親近感を持っている徴と思います。台湾は日本の統治時代から人々は親日感情が強く、日本にいる華僑という台湾人は主に貿易・商売・医師・留学生を営む人達でありました。戦後昭和 21 年に東京で台湾華僑の要人たちが集まり、日本聯合華僑総会(今の中華総会)を創立、各県に華僑総会を設置しました。華僑たちがお互いに団結し、助け合っ、僑民達の生活向上のために努力しました。また、台湾政府と深い関わりを保ち、日本各界の方々との交流に尽力してきた。孫文先生の言葉で“華僑は革命の母である”があるように、華僑たちの団結と奉仕の精神は有意義なものと思えます。

青森県中華総会の初代会長は義父の陳江舟(江川三郎)です。戦中義父と仲間達が疎開場所を選定し広島と青森に分かれた、親たちはリンゴが取れる青森を選んで、昭和 16 年に神戸から青森に移住した。リンゴのお陰で命が延びたといつも言う。それで台湾人に青森リンゴを紹介し、沢山の方々にプレゼントした。のち台湾の実家の兄や国会議員の親戚、また高官の友人達の力を借り、青森のリンゴが台湾に輸出できるように架け橋となって尽力した。また、東北の無医村に台湾の医者を紹介し、青森県の中高生を台湾に引率、文化や音楽の交流で双方の学生の友情を深めた。

中華民国を建国した孫文先生が革命活動の時に、参加した弘前出身の山田良政と山田純三郎兄弟がいました。彼らの功績を高く評価し、弘前の貞昌寺に 1919 年孫文先生によって山田良政の記念碑が建てられた。台湾の高官が礼拝によく訪れ、何應欽將軍も訪問されている。青森県と台湾は親密に交流活動が行われ、リンゴの台湾輸出などには、山田兄弟の活躍による影響が高いと義父が言っていました。1975 年に日台国交が絶えたが、亜細亜農漁業家交流協会と青森県日華親善協会が関わり、山田純三郎の功績を顕彰する目的で記念碑を中華民国の政府の手によって建立された。この石碑は山田良政の記念碑と横並びに前総統蒋介石から贈られた「永懷風義」の言葉が刻んであり、碑文の内容は山田兄弟の功績を讃えて何應欽將軍が書いたものである。

私は台湾から東京に来た留学生で、青森に移住してから 33 年目になりました。青森で沢山の先輩や友人ができ、各方面で皆様から御指導及び親切な御協力などを頂き、私は青森県民の台湾人ですと自己紹介しています。台湾人は儒教・道教・佛教の信仰があり、“人生は奉仕することを目的にする”と教えられ、今回の東日本大震災に台湾人が行動に表した。これからも青森県と台湾の親善交流のために行動し続けたいと思います。今後の皆様のご健祥と祈念を申し上げご挨拶と致します。



ご 挨拶

社団法人 青森県りんご輸出協会
理事長 太田 一民

中華民國建國百年青森県祝賀会を開催するに当り、一言歓迎のご挨拶を申し上げます。
この度は台北駐日経済文化代表処駐日副代表陳調和先生、青山青森県副知事、遠路来日下さった台湾の青森りんごの販売関係者、国内の仲介業者及び今日ご来場の皆様に対し心より熱くお礼申し上げます。

特に台湾関係者には、早朝よりりんご市場りんご園地等見学又、15:00からの台湾向けりんご輸出情報交換会等が有り、大変お疲れ様でした。駆け足でしたが、青森りんごの安心安全がご理解出来たと思いますので、お国にお帰りになりましたら、ぜひ消費者の皆様宜しくお伝え下さい。又今朝、貞昌寺で山田良政、純三郎兄弟の記念碑を見学しましたが、山田兄弟は孫文先生と親交が有り、辛亥革命に参加し、その恩義に対し、台湾では戦後日本の農作物は輸入禁止品でしたが、特に青森産りんごだけに特別輸入を許可しました。後に日本の総理大臣の竹下登が島根県産の梨、副総理の金丸信が山梨県産の桃の輸入を交渉しましたが、許可される事は無かったのです。今日青森県りんご輸出量の90%以上輸入して下さる台湾、山田兄弟の功績が無ければ、今日の台湾への輸出は無かった事でしょう。

台湾の要人が、青森にきた時は必ず山田兄弟の墓参りをして下さります。

青森県と台湾の架け橋となった山田兄弟、残念ながら郷土の生んだ偉大なる兄弟が忘れ去られようとしています。今夜の中華民國建國百年の祝賀会が山田兄弟の生まれ故郷弘前で行われる事は、非常に嬉しく思っていますし、今日の開催が再び山田兄弟に光が当たる機会になれば、幸いです。さて、東日本大震災に際し、台湾政府は震災後一番早く援助隊を派遣し、500t以上の物資支援し、7/11で義援金200億円を突破し、世界一の支援国になりました。それに対し日本政府が菅直人首相名で米国、英国、韓国、中国、ロシア、フランスの6カ国7紙の新聞に感謝広告を掲載しましたが、最大規模の支援を行った台湾の新聞には掲載しませんでした。

ちなみに米国160億円、英国金額不明・原子力関連物資、韓国1億円、中国3億7500万円、ロシア金額不明・救援物資、フランス金額不明・救援物資
私は個人的にこの不義理に大変な怒りを感じています。米国人口3億1000万人、中国人口13億人、台湾人口2300万人の島国の義援金の多さは、日本国民が想像を超えるもので、とても感謝しています。

私共青森県は本州の北のはての一地方ですが、日頃台湾にお世話になっている、りんご生産から流通関係者及び青森県日華親善協会中華総会の各会員並びに台湾に縁が有る方々が一同に会し、親愛なる国台湾、もっとも敬愛する国台湾に感謝をこめて、中華民國建國百年を祝し、記念式典を行うのです。

中華民國台湾 万歳